

### 答えて市長！一般質問

前ページからの続き

#### 超マンモス校化に対する市の考えは

濱田 美弥

(問) 千四百名を超すマンモス校は全国2万校の中でも数例しかない稀有な状態である。少人数学級や特別支援学級等の教室は考えられているか。また、教育委員会としては、児童が快適な環境の中で学習できる人数はどのくらいとお考えか。人数が多くなりすぎた場合には学区の線を引くのではなく児童や保護者が主体的に選択できるようにしてはいかか。年齢に応じてバスなどで三輪野江小や旭小などで学習できるようにしてはどうか。また、美南小の児童が伸び伸びと体を動かせるよう①防球ネットの設置②ボール蹴りの壁当て用の壁③ボルダリングの設備④一輪車や縄跳びがしやすいようゴム床や手すりの設置などの改装をしてはいかか。

(答) 教育部長 教室数については一階・二階の多目的室を有効活用することで対応が可能と考えられる。規模については十二学級から十八学級が標準であり、美南小は大規模校と分類されるが、一人一人を大切にされた教育を推進していく。他校での学習や設備の設置等は難しい。

#### 防災強化に向けて・東埼玉テクノポリス拡張の進捗は

加藤 克明

(問) 第2回減災プロジェクト実施にあたり、市民からはどう言った意見が寄せられたか。また今後の課題と総括は。

(答) 市民生活部長 「普段から話し合いなどしておかなければ、災害時に何をしたいのかわからない」「自治会での団結力と助け合いが必要」など意見が寄せられた。課題と総括については災害時には、自主防災組織や自治会による主体的な活動が必要不可欠となる事から、自主防災組織や自治会ごとに地区防災計画の作成について支援策を検討していく。



減災プロジェクトのようす

(問) 東埼玉テクノポリス拡張の進捗状況は。

(答) 市民生活部長 これまでも埼

玉県に対し、市街化区域編入の候補地として要望してきた。埼玉県企業局への働きかけにつきましても、現在、日程を調整、早ければ年内中に訪問する予定となっている。

#### 地域で子どもを育てるために保護者同士の連絡の手立てを

岩田 京子

(問) 個人情報保護法ができてから、保護者はクラス名簿を手にすることがなくなった。特に小学校低学年においては、親同士が連絡を取れない弊害が多い。新しいお友達との待合せトラブル、学校での出来事の情報交換ができない、遊びに来た子が行き先も連絡ができない等、名簿の復活はできないのか。

(答) 教育部長 個人情報保護法により、学校で集める情報は学校運営上必要な情報のため、外に出すのは難しい。お母さん達の努力でやり取りしてもらいたい。

(問) 内向的な方、引っ越してこられた方等にとってはなかなか困難。一方で市は子育てを一人ですせないための施策に力を入れている。保護法は適正に管理するための法律で、地域を分断するためのものではない。

(答) 教育部長 どうしてもとなればPTAが話し合いをされて、その中でやるしかないと思う。

(問) その可能な方法を、積極的にPTAに伝えてもらいたい。

(答) 教育部長 PTA連合会と教

育委員会との話し合いの場でお伝えします。

#### 中原市長による三輪野江白地地域の区域指定を早急に

齋藤 詔治

(問) 今、吉川市の産業振興策は、唯一、三輪野江白地地域の一部を計画的に、産業ゾーンへ区域指定が肝要です。地元を含め、多くの企業が吉川市への進出要望は多々です。市内にはこれを満たす土地は皆無状況です、どのように考慮しているか。

(答) 市長 私は白地地域を農業と商業と工業を併せた、素晴らしい町にする為、ビジョンを組立、組織を固めた上でどういった区域指定を行うべきか皆さんと議論して行くことではないか、と思います。私達のまちづくりにとって、来てほしい企業を呼ぶ為にも組織をつくり、理念をつくり、進めて行きたい。



三輪野江の白地地域

(問) 吉川市は市街化調整区域が多く、農振農用地(青地)が大

部分です。近隣市町と比べ異常です。既存集落地域の(白地地域)編入を推進すべきです。

(答) 市民生活部長 編入には県の同意が必要です。

具体的な事業計画の無い、新たな白地地域を増やす変更は難しい。農地確保よりも優先して行うべき事業を行う場合は、各課連携して取り組んでいきます。

#### 職員採用大幅減に今年度は15人に

伊藤 正勝

(問) 前年度の新採用は28人。例年の倍増にちかい。職員10人増は将来的に20億円超える支出と指摘。今年度の方針と現状は。

(答) 政策室長 現在一般職15人を内定。民間スポーツ枠は合格水準に達する人なく、今後この枠と土木技術など若干名を上乗せ予定。退職者、育児休業、業務量などを捉えた上で対応する。

(問) 働き方改革、格差是正の見地から臨時職員の処遇改善もテーマに浮上。継続して取り上げるが、現状を伺いたい。

(答) 政策室長 地方公務員法改正で32年4月から新たな任用体制へ。制度改正の準備を進める。現在臨時職員は195人。勤務時間は1日3時間から7時間半。時給も850円から十種類ある。雇用は原則半年更新で。勤務時間に応じ手当も支給。この賃金は財政上物件費の扱いです。

(問) 臨時や再任用職の活用を。

(答) 政策室長 再任用職員も今後増加。知識経験を活かし、能力が発揮できるよう配置する。産休補充は職員と臨時職員の代替で対応していきたい。

#### 三郷流山線を西部延伸し、東埼玉道路に直結を

吉川 敏幸

(問) 東埼玉道路の延伸、また、(仮称)三郷流山橋の建設に伴い、三郷市との市境を走る三郷流山線を西部延伸し、緊急輸送道路である東埼玉道路に直結するよう近隣市との協力体制の構築を。

(答) 都市整備部長 吉川市、三郷市の都市計画マスタープランにおいて東西を結ぶ構想路線として位置付けている。機会をとらえながら、埼玉県を始め、近隣市と連携を図ってまいりたい。

◆市として、気概溢れる産業振興政策を

(問) 産業振興条例(案)を拝読した。感想として、市がこれから吉川市の産業振興に全力で取り組んでいくんだという気概が感じられない。①企業誘致②市内事業者への受注機会を増やす③市内事業者の人材の育成等の言葉を加えられたい。

(答) 市長 分割発注など、なるべく地元業者が受注できるように、かなり配慮を重ねている。今、ご提案頂いたことも含め、もう一度検討したい。

